明治二十五年三月三十一日第三種郵便物認可

官報　號外　昭和十三年二月十五日

○第七十三回帝國議會貴族院議事速記錄第十一號

昭和十三年二月十四日(月曜日)午前十時十三分開議

議事日程　第十一號
　昭和十三年二月十四日
　　午前十時開議

第一　商業組合法中改正法律案(政府提出)　第一讀會
第二　商法中改正法律案(政府提出)
　　第一讀會ノ續(委員長報告)
第三　商法中改正法律施行法案(政府提出)
　　第一讀會ノ續(委員長報告)
第四　日滿司法事務共助法案(政府提出)
　　第一讀會ノ續(委員長報告)
第五　有限會社法案(政府提出)
　　第一讀會ノ續(委員長報告)

○副議長(侯爵佐佐木行忠君)　報告ヲ致サセマス

〔石橋書記官朗讀〕

　正三位勳一等　男爵松井慶四郎君
　從四位勳一等　菅原　通敬君
　從二位勳一等　松浦鎭次郎君

去ル十日願ニ依リ貴族院議員ヲ免セラル

同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ
　商法中改正法律案可決報告書
　商法中改正法律施行法案可決報告書
　日滿司法事務共助法案修正報告書
　有限會社法案可決報告書

一昨十二日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ
　昭和十三年度歳入歳出總豫算案竝昭和十三年度各特別會計歳入歳出豫算案
　豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件

同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ
　請願委員會特別報告第二號

○副議長(侯爵佐佐木行忠君)　去ル十日子爵大河内正敏君、子爵議員補闕選擧ニ當選セラレマシタ、又同日有田八郎君、貴族院令第一條第四號ニ依リ貴族院議員ニ任ゼラレマシタ、仍テ其ノ部屬ハ、大河内子爵ヲ第四部ニ、有田君ヲ第九部ニ定メマシタ

○副議長(侯爵佐佐木行忠君)　去ル十一日議長ハ憲法發布五十年祝賀上奏書ヲ携ヘテ參内、宮内大臣ヲ經テ上奏書ヲ捧呈致シマシタ

○副議長(侯爵佐佐木行忠君)　是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、嘉納治五郎君海外旅行ニ付會期中、請暇ノ申出ガゴザイマシタ、之ヲ許可スルコトニ御異議ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵佐佐木行忠君)　御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵佐佐木行忠君)　懲罰委員菅原通敬君議員辭職ニ付同委員ニ闕員ヲ生ジマシタ、仍テ第四部ニ於テ其ノ補闕選擧ヲ行ハレムコトヲ望ミマス

○副議長(侯爵佐佐木行忠君)　此ノ際大藏大臣ニ發言ヲ許シマス、賀屋大藏大臣

〔國務大臣賀屋興宣君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(賀屋興宣君)　茲ニ昭和十三年度歳入歳出總豫算ノ大要竝ニ事變下ニ於ケル我ガ國經濟界ノ現狀ニ付說明致シマスルコトハ、私ノ最モ光榮ト致ス所デアリマス、支那事變ノ經過ハ諸君御承知ノ通リデアリマシテ、國民政府ノ無反省ナル態度ニ鑑ミ、帝國政府ハ爾後之ヲ對手トセズ、新興支那政權ノ成立發展ヲ期待致シマシテ、更生新支那ノ建設ニ協力スルノ根本方針ヲ確立致シマシタノデ、愈〻事變ノ長期ニ亙ル建前ヲ持シ、財政經濟上諸般ノ對策ニ遺憾ナキヲ期スル必要ガアルノデアリマス、而シテ今後事變ノ關係ニ於テ必要トスル多量ノ物資ト資金トノ需要ニ備ヘ、其ノ供給ヲ確保致シマスルト共ニ、國民經濟ノ維持ニ萬全ヲ期シマスルコトハ、持久戰ニ處スル我ガ財政經濟政策ノ基礎的方針ト信ズルノデアリマス、政府ハ昨年事變擴大ト共ニ、我ガ財政經濟ノ態勢ヲシテ非常時態ニ卽應セシムルヤウ諸般ノ方策ヲ講ジテ參ッタノデアリマスルガ、今後ニ於テモ此ノ基礎的方針ニ從ヒ、益〻是等方策ノ徹底ニ努力致ス積リデアリマス、昭和十三年度豫算ノ編成ニ當リマシテモ、事變ノ長期ニ亙ルコトヲ建前ト致シマシテ、物資ト資金トハ之ヲ軍ノ需要充足ニ集中致シ、軍需ニ關係アル資材ト資金トノ他ノ方面ニ於ケル消費ハ、極力之ヲ減少スル方針ノ下ニ、事變關係施設ノ充實ヲ期シ、其ノ他ノ諸經費ハ眞ニ緊急差措キ難キモノノ外、之ガ計上ヲ見合スコトト致シタノデアリマス、斯ク致シマシテ編成サレタル昭和十三年度歳入歳出總豫算ノ金額ハ、歳入歳出共ニ二十八億六千七百餘萬圓デアリマス、之ヲ前年度豫算額ト比較致シマスルニ、前年度豫算ノ中ニハ臨時軍事費特別會計ノ設置ニ伴ヒ、同會計ニ移シ整理セラル、歳入歳出ノ金額ヲ含ンデ居リマスルノデ、之ヲ控除シテ算ヲ改メマスルモノ、卽チ改算豫算額ト比較致シマスルト、歳入ニ於テ四千餘萬圓、歳出ニ於テ七千六百餘萬圓ヲソレ〲減少スルコトトナリマス、而シテ歳入豫算中普通歳入ハ、經常部二十億二千三百餘萬圓、臨時部一億五千餘萬圓、合計二十一億七千三百餘萬圓デアリマシテ、之ヲ前年度改算豫算額ト比較致シマスルニ、經常部ニ於テ一億九千五百餘萬圓ヲ增加シ、臨時部ニ於テ八千二百餘萬圓ヲ減少シ、差引一億千二百餘萬圓ノ增加トナッテ居ルノデアリマス、此ノ歳入經常部ノ增加ハ、大體ニ於テ租稅收入、印紙收入、官業及官有財產收入ノ增加ニ基クモノデアリマシテ、此ノ中租稅收入ノ增加ハ一億七千二百餘萬圓デアリマスルガ、是等ノ增加ハ主トシテ經濟界ノ好況ニ伴フ自然增收ニ依ルモノデアリマス、又臨時部普通歳入ノ減少致シマスルノハ、主トシテ特別會計ヨリ一般財源受入ノ減少スルモノ六千百餘萬圓アルノニ依ルモノデアリマスルガ、是ハ今年度ニ於テハ南洋廳ヲ除ク外地特別會計竝ニ帝國鐵道、通信事業ノ兩特別會計ヨリ、臨時軍事費特別會計ヘ財源ヲ繰入レルコトト致シマシタル結果、是等特別會計ヨリ一般會計ヘノ一般財源繰入ハ、之ヲ行ハ

ザルコトト致シタ爲デアリマス、次ニ歲出豫算ノ內譯ハ、經常部十六億四千餘萬圓、臨時部十二億二千七百餘萬圓デアリマシテ、之ヲ前年度改算豫算額ニ比較致シマスルニ、經常部ニ於テ一億三千七百餘萬圓ヲ增加シ、臨時部ニ於テ二億千四百餘萬圓ヲ減少致シテ居ルノデアリマス、右歲出豫算ノ大體ニ付概略ノ說明ヲ致シマスルニ、軍備ノ充實ニ付キマシテハ、既定計畫ノ遂行ヲ期スルト共ニ、緊急已ムヲ得ザル新規計畫ニ要スル經費ニ付キマシテモ、努メテ之ヲ計上致シタノデアリマス、次ニ事變ニ伴フ陸海軍兩省以外ニ於ケル施設ニ關スル經費トシテ、軍事扶助費ノ增加、軍事援護事業ノ充實ニ要スル經費等五千六百餘萬圓ヲ新規ニ計上致シ、此ノ外ニモ防空ニ關スル經費、農產資源開發ニ關スル經費、輸出增進ニ關スル經費、液體燃料ニ關スル經費、技術員養成ニ關スル經費、民間航空ニ關スル經費等、現下ノ時局ニ顧ミ緊要ナル經費ヲ計上致シタノデアリマス、尙地方財政調整補給金ハ、前年度ト同樣一億圓ヲ計上シ、又事變ニ伴フ豫算超過及豫算外支出ノ必要ニ應ズル等ノ爲、國庫豫備金ヲ三千七百萬圓ダケ增加致シタノデアリマス、而シテ右以外一般ノ新規經費ハ、極力之ガ計上ヲ見合セマスルト共ニ、既定經費ニ付キマシテ一億四千百餘萬圓ノ節減繰延ヲ行フコトト致シタノデアリマス、昭和十三年度豫算ニ於ケル歲入ノ不足ハ公債財源ニ依ルコトト致シタノデアリマスルガ、其ノ公債發行豫定額ハ總額六億九千四百餘萬圓デアリマシテ、之ニ朝鮮總督府、帝國鐵道、通信事業ノ各特別會計ニ於テ、其ノ歲出ノ財源ニ充ツル爲發行スル豫定ノ公債、合計一億六千六百餘萬圓ヲ加ヘマスルナラバ、其ノ總額ハ八億六千餘萬圓ト相成リ、之ヲ前年度改算豫算上ノ公債發行豫定額ニ比較致シマスルニ、一億九百餘萬圓ヲ減少スルコトト相成ルノデアリマス、右政府提出ノ豫算案ニ付キマシテハ、衆議院ニ於テ政府提出案ノ通リ可決セラレタ次第デアリマス、尙事變關係ノ軍事費ニ付キマシテハ、追テ臨時軍事費特別會計ノ追加豫算ヲ提出致シ、必要ナル經費ノ協贊ヲ求ムル豫定デアリマス、租稅制度ノ中央及地方ヲ通ズル全般的改正ニ付キマシテハ、政府ニ於キマシテモ豫テヨリ其ノ必要ヲ認メ、調査ヲ進メテ參ッタノデアリマスルガ、偶〻支那事變勃發致シマシテ、稅制ノ基礎トナルベキ經濟事情、及ビ國民ノ負擔力ニ相當ノ變化ヲ生ジツヽアリマスルノデ、之ヲ一應見合セルコトト致シ、追テ經濟上ノ事情ノ安定ヲ見マシタル際、其ノ改正ヲ斷行致ス積リデアリマス、併シナガラ部分的ノ事項ニ付キマシテハ、此ノ際一部ノ改正ヲ行フコトヲ適當ト認メマシテ、本議會ニ其ノ改正法律案ヲ提出致シタ次第デアリマス、尙臨時軍事費ノ財源ハ、大部分之ヲ公債ニ依ルノ方針デアリマスルガ、其ノ一部ハ銃後ノ奉公ト致シマシテ、廣ク國民ニ於テ租稅ヲ以テ之ヲ負擔スルコトガ適當デアルト認メラレマスノデ、現下ノ事態ニ應ズル臨時的增稅案ヲ、本議會ニ提出致シマシタ次第デアリマス、增稅ニ當リマシテハ、比較的擔稅力アリト認メラレマス方面ニ對シ增稅ヲ致スコトト致シマシテ、國民ノ負擔力ニ適應セシムルコトニ努メマスルト共ニ、事變ノ影響等ニ因リマシテ著シク收益ヲ減少致シマシタ者ノ負擔ヲ輕減セシムルコトガ必要デアルト認メマシテ、其ノ臨時的措置ヲ講ジタイト存ジテ居ル次第デアリマス、次ニ此ノ機會ニ、事變下ニ於ケル我ガ國經濟界ノ現狀ニ付キマシテ一言申上ゲタイト思ヒマス、今回ノ事變ニ處スル經濟政策ニ付キマシテハ、政府ハ曩ニ第七十一回、及第七十二回帝國議會ニ於テ、必要ナル法律ノ協贊ヲ得テ之ヲ施行致シマスルト共ニ、其ノ他各般ノ措置ヲ講ジテ參ッタノデアリマス、幸ニシテ是等ノ施設ハ、國民ノ理解アル協力ノ下ニ所期ノ效果ヲ收メマシテ、我ガ經濟界ハ事變ノ擴大セルニ拘ラズ、貿易、產業、金融、爲替、物價等各方面トモニ、大體ニ於テ此ノ事變下ト致シマシテハ、順調ナル經過ヲ辿ッテ居ルノデアリマシテ、邦家ノ爲誠ニ喜バシク存ズル次第デアリマス、金融界ノ情況ニ付申述ベマスルニ、事變ノ當初ニ於キマシテハ、一時金融ハ相當引締リノ狀態ヲ呈シタノデアリマスルガ、政府資金ノ支拂ノ進捗ト、各種ノ方策ノ實施トニ依リ、金融ノ基調ハ次第ニ緩和セラレテ參ッタノデアリマス、殊ニ昨年末ニ於ケル資金ノ移動ハ、近年稀ニ見ル繁忙ヲ呈シタノデアリマスルガ、極メテ平穩裡ニ經過致シ、越年後ノ情況モ至極順調デアリマシテ、今後ニ於キマシテモ金融ハ、引續キ圓滑ニ推移致スモノト考ヘテ居ルノデアリマス、尙起債市場ニ於キマシテモ、最近金融情勢ノ緩和ニ伴ヒマシテ、其ノ再開ノ機運ガ熟シテ參リ、既ニ一部社債ニ付テハ其ノ發行ノ決定ヲ見ルニ至リマシタガ、政府ト致シマシテハ、今後ニ於ケル起債界ノ堅實ナル伸暢ヲ期待致シテ居ルノデアリマス、國防產業其ノ他時局ニ顧ミ、緊要ナル產業ノ生產力擴充ニ付キマシテハ、臨時資金調整法ノ運用上特ニ留意致シマスルト共ニ、是等事業資金ノ供給ニ付キマシテモ、政府資金ヲ以テスル興業債券ノ引受其ノ他ノ方策ニ依リ、其ノ潤澤ナルヲ期シテ居ルノデアリマス、今後ニ於キマシテモ、政府ハ貯蓄ヲ奬勵シテ資本ノ蓄積ヲ圖リ、又臨時資金調整法ノ適切ナル運用ニ依リマシテ、是等事業資金ノ需給關係ヲ一層圓滑ナラシムル方針デアリマス、尙政府ハ庶民金融ノ整備改善ヲ圖ル爲、本議會ニ庶民金庫法案、恩給金庫法案及無盡業法中改正法律案ヲ提出致シタ次第デアリマス、公債ノ圓滑ナル消化ヲ圖ルコトハ、是ガ多額ノ發行ヲ必要トスル此ノ際、財政上ヨリスルモ國民經濟上ヨリスルモ、極メテ重要ノコトト考ヘマス、政府ハ之ガ爲預金部資金其ノ他政府關係資金ノ運用ニ付キマシテ、特ニ考慮ヲ廻ラスト共ニ、廣ク民間各種金融機關、其ノ他一般國民ノ國家的見地ニ立ツ協力支援ヲ要望致シテ居ル次第デアリマス、尙昨年實施致シマシタ公債ノ民衆化、卽チ郵便局ノ賣出及割增金附貯蓄債券ノ賣出ハ好成績ヲ收メタノデアリマスルガ、今後ニ於テモ時々之ヲ行ヒマスルト共ニ、又銀行預金其ノ他ニ依ル貯蓄ヲ奬勵シテ、一般國民ノ貯蓄心ノ涵養、公債保有ノ慣習ヲ養成致シ、他面金融機關ノ公債消化力ノ增進ニ努メ、以テ今後ニ於ケル公債ノ發行ニ遺憾ナキヲ期シテ居ルノデアリマス、國際收支ノ適合ヲ圖リ、爲替相場ヲ維持安定セシメマスルコトハ、時局ニ關シ必要トスル物資ノ輸入ヲ確保スル上ニ缺クベカラザル要件デアリマシテ、現下ノ財政經濟政策ノ根幹ヲ爲スモノデアリマス、事變以來ノ爲替相場ノ情況ヲ見マスルニ、事變ニ依リ何等ノ影響ヲ受クルコトナク、對英一志二片ノ水

準ハ微動ダモ致サナカッタノデアリマス、而シテ爲替相場ハ之ヲ引下ゲマシテモ、目下ノ情勢ノ下ニ於キマシテハ、國際收支ノ改善ニ資スルコトヲ得ナイバカリデナク、却テ經濟界ノ混亂ヲ惹起シ、各種ノ障碍ヲ惹キ起スノ虞ガアルノデアリマス、此ノ意味ニ於キマシテ政府ハ今後トモ引續キ、此ノ爲替水準ヲ堅持スル方針デアリマスルノデ、之ガ爲ニ國際收支ノ全體ニ付調整計畫ヲ樹立シ、一層輸出ノ振興、產金ノ奬勵ヲ圖リ、尙一般物資ノ輸入ノ調整、貿易外支拂勘定ノ減少、金ノ利用節約等ノ方策ノ徹底ニ努メマスルト共ニ、是等ニ依リマシテ、國際收支ノ適合ヲ期スルニ萬全ノ用意ヲ致ス積リデアリマス、次ニ事變勃發後ニ於ケル我ガ國物價ノ情況ヲ見マスルニ、一般ニハ未ダ著シキ騰貴ヲ致シテ居ラナイノデアリマス、是ハ主トシテ海外ニ於ケル物價ガ低落ノ傾向ニアリマシタノト、國民ノ間ニ消費節約ガ行ハレマシタコト等ニ基クモノト認メラレルノデアリマス、併シナガラ今後事變費關係政府資金ノ撒布ガ多キヲ加ヘ、又輸入貿易調整ノ進行ニ伴ヒマシテ、物價問題ハ其ノ重要性ヲ加フルニ至ルモノト考ヘラレマスルノデ、之ガ對策ニ付テハ特ニ愼重ヲ期シ、以テ適正ナル物價ノ保持ニ努ムル必要ガアルモノト考ヘルノデアリマス、物價對策ノ基本ハ申ス迄モナク、物資需給ノ調整ヲ圖ルニアルノデアリマスルカラ、政府ハ軍需關係ノ物資、其ノ他重要物資ニ付、其ノ需給ノ情況ヲ考ヘ、生產ノ增加ヲ圖リ、又消費ノ制限、代用品ノ使用等ノ徹底ヲ期スルト共ニ、是等物資ノ配給ニ付テモ、諸般ノ方策ヲ講ズル積リデアリマス、尙政府ハ是等ト共ニ賣惜、買占ヲ戒シメ、投機ヲ抑制シ、暴利ノ取締ヲ嚴ニ致ス方針デアリマスガ、更ニ現在一部物品ニ付實施致シテ居リマスル最高價格制ノ範圍ヲ、必要ニ應ジ擴張スル等、直接物價ヲ調整スル方面ニ於テモ、對策ニ付遺憾ナキヲ期スル方針デアリマス、而シテ是等物價對策ハ、根本ニ於テ國民ノ自省ヲ俟ツニアラズンバ、到底所期ノ成果ヲ收ムルコトガ出來ナイノデアリマスルカラ、此ノ點ニ於テ國民ノ眞摯ナル協力ヲ特ニ切望致ス次第デアリマス、最近我ガ國ノ經濟力ハ著シキ發展ヲ致シテ居ル次第デアリマスガ、今後ノ持久戰ニ備フル爲ニハ、益〻其ノ擴充ヲ圖リ、之ヲ軍事目的遂行ニ集中スル必要ガアルノデアリマス、而シテ此ノ經濟力ノ擴充及集中ヲ最モ效果的ナラシメ、而モ國民經濟ノ維持ニ支障ナカラシムル爲ニハ、生產力ノ擴充、國際收支ノ適合及物資需給ノ調整ノ觀點ヨリ、政府及民間ヲ通ズル國家全體ノ經濟活動ニ付、計畫性ヲ與フル必要ガ愈〻緊切トナッタノデアリマス、政府ハ各種具體策ノ考究ヲ進メ、之ガ實行ヲ期シテ居ル次第デアリマスガ、其ノ過程ニ於テハ各方面ニ種々ノ摩擦ガ生ズルコトハ避ケ難イ所ト考ヘルノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ、政府ニ於テモ極力善處致ス積リデアリマスルガ、事變ノ目的達成ノ爲、一般國民ニ於テモ右ハ國家ノ發展途上ニ於ル一大試錬トシテ、進ンデ此ノ困難ヲ克服スル堅キ心構ヲ必要トスルノデアリマス、我ガ國ノ經濟事情ヲ詳ニセザル諸外國ノ中ニハ、支那事變勃發後、我ガ國經濟力ノ持久性ニ付キマシテ、懸念ヲ致シテ居ルト云フ向モアッタノデアリマスルガ、其ノ豫想ニ反シ、我ガ經濟界ハ諸君御承知ノ通リ、事變以來聊カモ動搖スルコトナク、極メテ平靜堅實ニ運行セラレツヽアルノデアリマス、私ハ國民ガ愛國ノ至情ヨリ堅忍不拔、以テ事變終局ノ目的貫徹ニ努力セラルヽコトヲ信ジテ疑ハナイノデアリマシテ、我ガ充實セル經濟力ニ加フルニ、此ノ國民ノ一致協力ヲ以テ致シマスルナラバ、事變ガ如何ニ長期ニ亙ル場合ニ於テモ、毫モ憂慮ノ要ナキモノト確信致ス次第デアリマス、終リニ臨ミマシテ政府提出ノ豫算案ニ付キマシテハ、何卒速カニ協贊ヲ與ヘラレムコトヲ希望致シマス

○**副議長**（侯爵佐佐木行忠君）　是ヨリ豫算委員會及昭和十二年法律第九十二號中改正法律案特別委員會開會ノ爲、委員退席ノ要求ガゴザイマシタ、之ヲ許可致シテ御異議ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○**副議長**（侯爵佐佐木行忠君）　御異議ナイト認メマス

○**副議長**（侯爵佐佐木行忠君）　國務大臣ノ演說ニ對シ質疑ノ通告ガゴザイマスガ、此ノ際日程ニ移リ、日程終了後ニ質疑ノ發言ヲ許シタイト存ジマス、御異議ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○**副議長**（侯爵佐佐木行忠君）　御異議ナイト認メマス

○**副議長**（侯爵佐佐木行忠君）　日程第一、商業組合法中改正法律案、政府提出、第一讀會、吉野商工大臣

〔左ノ提出文及法律案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ玆ニ載錄ス以下之ニ倣フ〕

商業組合法中改正法律案

右

勅旨ヲ奉ジ帝國議會ニ提出ス

昭和十三年二月九日

内閣總理大臣　公爵近衞　文麿

商　工　大　臣　吉野　信次

商業組合法中改正法律案

商業組合法中左ノ通改正ス

第三條第二項中「資金ノ貸付」ノ下ニ「、組合員ノ爲ニスル其ノ營業上ノ債務ノ保證」ヲ加フ

第三條ノ二　商業組合ハ命令ノ定ムル所ニ依リ行政官廳ノ許可ヲ受ケ其ノ組合員ノ取扱商品ニ付商品券ヲ發行スルコトヲ得

第三條ノ三　商業組合商品券ヲ發行シタルトキハ組合員ハ之ニ對シ其ノ取扱商品ニ付引換ノ義務ヲ負フ

第三條ノ四　商業組合商品券ヲ發行シタル場合ニ於テ其ノ組合員商品券ノ引換ヲ爲スコト能ハザルトキ又ハ其ノ引換ヲ停止シタルトキハ其ノ商業組合ハ商品券ノ所有者ニ對シ券面ニ表示シタル金額ヲ限度トシテ辨濟ノ責ヲ負フ

第三條ノ五　商品券ヲ發行シタル商業組合自ラ商品ヲ販賣スル場合ニ於テ前三條中組合員トアルハ組合及組合員トス

第三條ノ六　保管事業ヲ行フ商業組合ハ行政官廳ノ許可ヲ受ケ組合員ノ寄託物ニ付倉荷證券ヲ發行スルコトヲ得

前項ノ許可ヲ受ケタル商業組合ハ組合員タル寄託者ノ請求ニ因リ寄託物ノ倉荷證券ヲ交付スルコトヲ要ス

商法第三百八十三條ノ二第二項及第三

百八十三條ノ三ノ規定ハ第一項ノ倉荷證券ニ之ヲ準用ス

第三條ノ七　前條第一項ノ許可ヲ受ケタル商業組合ノ作成スル倉荷證券ニハ商業組合倉庫證券ナル文字ヲ記載スルコトヲ要ス

商業組合ニ非ザル者ノ作成スル預證券及質入證券又ハ倉荷證券ニハ商業組合倉庫證券ナル文字ヲ記載スルコトヲ得ズ

第三條ノ八　商業組合倉庫證券ノ發行アリタル寄託物ノ保管期間ハ寄託ノ日ヨリ六月以內トス

前項ノ寄託物ノ保管期間ハ六月ヲ限度トシ之ヲ更新スルコトヲ得但シ更新ノ際ニ於ケル證券ノ所持人組合員ニ非ザルトキハ組合員ノ利用ニ支障ナキ場合ニ限ル

第三條ノ九　商法第三百七十五條乃至第三百七十八條及第三百八十一條乃至第三百八十三條ノ規定ハ商業組合ガ商業組合倉庫證券ヲ發行シタル場合ニ之ヲ準用ス

第五條中「ノ一部」ヲ削ル

第七條中「行フ場合ニ於テハ」ノ下ニ「總會ノ議決ヲ經テ」ヲ加フ

第七條ノ二　商業組合前條ノ規程ニ基キ販賣價格、販賣數量其ノ他命令ノ定ムル事項ニ付決定ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク之ヲ行政官廳ニ屆出ヅベシ

行政官廳必要アリト認ムルトキハ前項ノ決定ノ變更又ハ取消ヲ爲スコトヲ得

第八條中「又ハ矯正スル爲」ヲ「若ハ矯正スル爲又ハ商業ノ健全ナル發達ヲ圖ル爲」ニ改ム

第九條中「又ハ矯正スル爲」ヲ「若ハ矯正スル爲又ハ商業ノ健全ナル發達ヲ圖ル爲」ニ改ム

第九條ノ二　前條ノ規定ニ依ル命令アリタル場合ニ於テ行政官廳取締上必要アリト認ムルトキハ當該官吏ヲシテ店舖、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ物品、帳簿其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ當該官吏前條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者アリト認ムルトキハ被疑者若ハ參考人ヲ尋問シ又ハ犯罪ノ事實ヲ證明スベキ物件ヲ搜索シ若ハ之ガ差押ヲ爲スコトヲ得

臨檢、尋問、搜索及差押ニ關シテハ間接國稅犯則者處分法ヲ準用ス

第九條ノ三　第九條ノ規定ニ依ル命令アリタル場合ニ於テ特ニ必要アリト認ムルトキハ其ノ命令ノ效力ヲ有スル期間ヲ限リ當該商業組合ノ地區內ニ於テ新ニ當該商業ヲ營マントスル者ヲシテ命令ノ定ムル所ニ依リ行政官廳ノ許可ヲ受ケシムルコトヲ得

第十二條第一項但書中「二以上アルトキハ」ノ下ニ「命令ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外」ヲ加フ

第十三條但書中「二以上アルトキハ」ノ下ニ「命令ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外」ヲ加フ

第十四條第一項但書ヲ削リ同項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

前項ノ代理人ハ設立同意者タルコトヲ要ス但シ法人タル設立同意者ハ其ノ業務ヲ執行スル役員又ハ支配人ヲ代理人ト爲スコトヲ得

第十五條ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ第十七條ノ二ノ規定ニ依ル商業組合ニ在リテハ第七號乃至第九號、第二十七號ノ二ノ規定ニ依ル商業組合ニ在リテハ第六號乃至第九號及第十五號ニ揭ゲタル事項ハ之ヲ記載スルコトヲ要セズ

第十五條ノ二　商業組合ハ設立ノ認可アリタル時又ハ第二十七條ノ二第二項ノ規定ニ依リ定款ノ作成アリタル時成立ス

第十六條　商業組合ハ出資ノ第一回ノ拂込アリタル後二週間以內ニ各事務所ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲スベシ但シ第十七條ノ二ノ規定ニ依ル商業組合又ハ第二十七條ノ二ノ規定ニ依ル商業組合ニ在リテハ其ノ成立後二週間以內ニ之ヲ爲スベシ

登記スベキ事項左ノ如シ但シ第十七條ノ二ノ規定ニ依ル商業組合ニ在リテハ第三號及第四號ニ揭ゲタル事項竝ニ第十五條第七號ニ揭ゲタル事項、第二十七條ノ二ノ規定ニ依ル商業組合ニ在リテハ第三號及第四號ニ揭ゲタル事項竝ニ第十五條第七號及第十五號ニ揭ゲタル事項ハ之ヲ登記スルコトヲ要セズ

一　第十五條第一號乃至第三號、第七號及第十五號ニ揭ゲタル事項

二　事務所

三　出資ノ總口數及拂込ミタル出資ノ總額

四　第十九條ノ規定ニ依ル商業組合ニ在リテハ各組合員ノ氏名又ハ名稱、住所及保證金額

五　成立ノ年月日

六　理事及監事ノ氏名及住所

前項ニ揭ゲタル事項中ニ變更ヲ生ジタルトキハ其ノ登記ヲ爲スベシ但シ前項第三號ニ揭ゲタル事項ニ付テハ每事業年度末日ノ現在ニ依リ事業年度終了後一月以內ニ登記ヲ爲スコトヲ得

第十七條ノ二　第三條第一項第一號及第二項竝ニ第三條ノ二ノ事業ヲ行ハザル商業組合ニ在リテハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合員ヲシテ出資ヲ爲サシメザルモノト爲スコトヲ得

第十七條ノ三　行政官廳當該商業ノ統制ヲ圖ル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ前條ノ規定ニ依ル商業組合ノ地區內ニ於テ其ノ組合ノ組合員ニ非ズシテ組合員タル資格ヲ有スル者ニ對シ其ノ組合ニ加入スベキコトヲ命ズルコトヲ得但シ其ノ組合ノ組合員數ガ其ノ組合ノ地區內ニ於テ組合員タル資格ヲ有スル者ノ數ノ三分ノ二以上ナル場合ニ限ル

前項ノ規定ニ依ル命令アリタルトキハ其ノ組合ノ地區內ニ於テ組合員タル資格ヲ有スル者ハ總テ其ノ組合ノ組合員トス

第一項ノ規定ニ依ル命令アリタル商業組合ハ合併ヲ爲スコトヲ得ズ

第二十一條第二項及第三項ヲ左ノ如ク改ム

理事及監事ハ總會ニ於テ組合員又ハ組合員タル法人ノ業務ヲ執行スル役員ノ中ヨリ之ヲ選任ス但シ組合設立當時ノ理事及監事ハ創立總會ニ於テ第十二條第一項ノ場合ニ在リテハ設立同意者又ハ設立同意者タル法人ノ業務ヲ執行スル役員ノ中ヨリ、第二十七條ノ三第一項ノ場合ニ在リテハ組合員タル資格ヲ

有スル者又ハ組合員タル資格ヲ有スル法人ノ業務ヲ執行スル役員ノ中ヨリ之ヲ選任スベシ
特別ノ事由アルトキハ理事又ハ監事ハ前項ニ該當セザル者ヨリ之ヲ選任スルコトヲ得此ノ場合ニ於ケル選任ハ行政官廳ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ
第二十一條ノ二　第三條第一項第二號ノ事業ヲ行フ商業組合ニシテ全國ヲ地區トスルモノ、第九條若ハ第十七條ノ三第一項ノ規定ニ依ル命令アリタル商業組合又ハ第二十七條ノ二ノ規定ニ依ル商業組合ノ理事ノ選任及解任ハ行政官廳ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ
組合ガ前項ノ規定ノ適用ヲ受クルニ至リタル場合ニ於テ現ニ其ノ職ニ在ル理事ハ其ノ選任ニ付前項ノ規定ニ依ル認可ヲ受ケタルモノト看做ス
第一項ニ掲ゲタル組合ノ理事ノ選任ニ付テハ前條第三項ノ規定ニ依ル認可ヲ受クルコトヲ要セズ
第二十二條ノ二　組合員ハ代理人ヲ以テ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ出席ト看做ス
前項ノ代理人ハ組合員タルコトヲ要ス但シ法人タル組合員ハ其ノ業務ヲ執行スル役員又ハ支配人ヲ代理人ト爲スコトヲ得
代理人ハ代理權ヲ證スル書面ヲ組合ニ差出スベシ
第二十三條第一項中「ノ一部」ヲ削ル
第二十六條中「又ハ定款」ヲ「、定款又ハ第七條ノ規程」ニ改ム
第二十七條第四號ヲ第五號トシ同條第三號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ
四　第三條ノ二又ハ第三條ノ六第一項ノ許可ノ取消
第二十七條ノ二　行政官廳當該商業ノ統制ヲ圖リ國民經濟ノ健全ナル發達ヲ期スル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ地區及組合員タル資格ヲ定メ其ノ地區内ニ於テ組合員タル資格ヲ有スル者ニ對シ商業組合ノ設立ヲ命ズルコトヲ得
前項ノ規定ニ依リ設立ヲ命ゼラレタル者行政官廳ノ指定スル期限迄ニ設立ノ認可ヲ申請セザルトキハ行政官廳ハ定款ノ作成其ノ他設立ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第二十七條ノ三　前條第一項ノ規定ニ依リ商業組合ノ設立ヲ命ゼラレタルトキハ創立總會ヲ開キ定款其ノ他必要ナル事項ヲ定メ役員ヲ選任シ設立ノ認可ヲ申請スベシ
前項ノ創立總會ニ於ケル議決及役員ノ選任ハ出席者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ以テ之ヲ爲ス
第二十七條ノ四　行政官廳第二十七條ノ二第二項ノ規定ニ依リ定款ヲ作成シタルトキハ商業組合ノ理事及監事ヲ命ズ
前項ノ理事ハ遲滯ナク總會ヲ招集スベシ
前項ノ總會ニ於テハ組合設立當時ノ經費ノ收支豫算及分賦收入方法ヲ議決スベシ
第二十三條第二項ノ規定ハ前項ノ議決ニ之ヲ準用ス
第二十七條ノ五　第二十七條ノ二ノ規定ニ依ル商業組合ハ第三條第一項第一號及第二項竝ニ第三條ノ二ノ事業ヲ行フコトヲ得ズ
第二十七條ノ六　第二十七條ノ二ノ規定ニ依ル商業組合成立シタルトキハ其ノ組合ノ地區内ニ於テ組合員タル資格ヲ有スル者ハ其ノ組合ノ組合員トス
第二十七條ノ七　第二十七條ノ二ノ規定ニ依ル商業組合ハ其ノ組合員ヲシテ出資ヲ爲サシムルコトヲ得ズ
第二十七條ノ八　第二十七條ノ二ノ規定ニ依ル商業組合ハ合併ヲ爲スコトヲ得ズ
第二十九條中「設立セントスルトキ」ノ下ニ「又ハ第三十二條ノ規定ニ依リ準用シタル第二十七條ノ二ノ規定ニ依リ其ノ設立ヲ命ゼラレタルトキ」ヲ加フ
第三十條ニ左ノ一項ヲ加フ
前二項ノ規定ハ第三十二條ノ規定ニ依リ準用シタル第二十七條ノ二ノ規定ニ依ル商業組合聯合會ニ付テハ之ヲ適用セズ
第三十一條第二項中「受クベシ」ヲ「受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ」ニ改ム
第三十二條中「商業組合ニ關スル規定ハ」ノ下ニ「第三條ノ二乃至第三條ノ五、第九條ノ三及」ヲ加ヘ同條但書ヲ左ノ如ク改ム
但シ第三條、第三條ノ六及第三條ノ八中組合員トアルハ所屬ノ組合、聯合會及組合員トシ第二十一條ノ二中全國トアルハ道府縣ノ區域ヲ超ユル區域トス
第三十三條第二項中「、總會又ハ創立委員會ノ決議錄」ヲ「又ハ總會ノ決議錄ノ謄本、組合ノ設立アリタルコトヲ證スル書面」ニ改メ同項ニ左ノ但書ヲ加フ
但シ第二十七條ノ二ノ規定ニ依ル商業組合ニシテ行政官廳ノ處分ニ因リテ成立シタルモノニ在リテハ創立總會又ハ總會ノ決議錄ノ謄本、出資ノ總口數ヲ證スル書面及出資ノ第一回ノ拂込アリタルコトヲ證スル書面、第二十七條ノ二ノ規定ニ依ル商業組合ニシテ行政官廳ノ處分ニ因ラズシテ成立シタルモノ又ハ第十七條ノ二ノ規定ニ依ル商業組合ニ在リテハ出資ノ總口數ヲ證スル書面及出資ノ第一回ノ拂込アリタルコトヲ證スル書面ハ之ヲ添附スルコトヲ要セズ
第三十七條中「第三十五條乃至第三十七條」ヲ「第三十五條、第三十六條」ニ改メ「第百四條ノ規定」ノ下ニ「(第十七條ノ二ノ規定ニ依ル商業組合ニシテ第十七條ノ三第一項ノ規定ニ依ル命令アリタルモノニ付テハ産業組合法第十條、第十一條第一項、第十二條、第十八條乃至第二十二條、第四十條乃至第四十三條、第四十四條、第二項、第四十五條、第四十六條、第四十八條、第五十一條第三號乃至第五號、第五十二條乃至第五十八條、第六十二條第一項第三號、第六十三條ノ二、第六十四條、第六十六條第一項、第六十七條、第六十八條及第七十七條第三項ノ規定ヲ、其ノ他ノモノニ付テハ産業組合法第十一條第一項、第十二條、第十八條乃至第二十二條、第四十條乃至第四十三條、第四十四條第二項、第四十五條、第四十六條、第四十八條、第五十三條乃至第五十

八條、第六十二條第二項但書、第六十八條及第七十七條第三項ノ規定ヲ、第二十七條ノ二ノ規定ニ依ル商業組合ニ付テハ産業組合法第十條、第十一條第一項、第十二條、第十八條乃至第二十二條、第四十條乃至第四十三條、第四十四條第二項、第四十五條、第四十六條、第四十八條、第五十一條第三號乃至第五號、第五十二條乃至第五十八條、第六十二條第一項第一號第三號、第六十三條ノ二、第六十四條、第六十六條第一項、第六十七條、第六十八條及第七十七條第三項ノ規定ヲ除ク)」ヲ加フ

第三十七條ノ二　左ノ場合ニ於テハ商業組合ノ理事、監事又ハ淸算人ヲ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス

一　第三條ノ二ノ規定ニ違反シ行政官廳ノ許可ヲ受ケズシテ又ハ第二十七條第四號ノ規定ニ依ル處分ニ違反シテ商品券ヲ發行シタルトキ

二　第三條ノ六ノ規定ニ違反シ行政官廳ノ許可ヲ受ケズシテ又ハ第二十七條第四號ノ規定ニ依ル處分ニ違反シテ商業組合倉庫證券ヲ發行シタルトキ

第三十八條第三號ヲ第四號トシ以下順次繰下ゲ同條第二號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

三　本法ニ依ル屆出ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ屆出ヲ爲シタルトキ

第三十九條中「第四條第二項」ノ下ニ「(第三十二條ノ規定ニ依リ準用スル場合ヲ含ム)」ヲ加フ

第四十條中「前二條」ヲ「前三條」ニ改ム

第四十一條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

一　第九條ノ規定(第三十二條ノ規定ニ依リ準用スル場合ヲ含ム)ニ依ル行政官廳ノ命令ニ違反シタル者

二　第九條ノ三ノ規定ニ依ル行政官廳ノ命令ニ違反シ許可ヲ受ケズシテ商業ヲ營ミタル者

商業者ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ガ其ノ營業ニ關シ前項ノ罪ヲ犯シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

第四十二條ノ二　正當ノ理由ナクシテ第九條ノ二ノ規定(第三十二條ノ規定ニ依リ準用スル場合ヲ含ム)ニ依ル當該官吏ノ臨檢、檢査、搜索又ハ差押ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十三條中「五百圓」ヲ「千圓」ニ改ム

第四十七條　商業組合中央會ハ商業組合及商業組合聯合會ノ普及、發達及聯絡ヲ圖ル目的ヲ以テ之ヲ設立スルコトヲ得

商業組合中央會ハ法人トス

第四十八條　商業組合中央會ハ其ノ名稱中ニ商業組合中央會ナル文字ヲ用フベシ

第四十九條　商業組合中央會ハ全國ヲ通ジテ一箇トシ其ノ設立ハ行政官廳ノ認可ヲ受クベシ

商業組合中央會ノ設立ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五十條　商業組合及商業組合聯合會ハ商業組合中央會ノ會員ト爲ルコトヲ得

前項以外ノ者ト雖モ定款ノ定ムル所ニ依リ商業組合中央會ノ會員ト爲ルコトヲ得

第五十一條　商業組合中央會ノ定款ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

一　目的

二　名稱

三　事務所ノ所在地

四　會員ノ加入及脫退ニ關スル規定

五　會員ノ權利義務ニ關スル規定

六　資産ニ關スル規定

七　事業及其ノ執行ニ關スル規定

八　役員ニ關スル規定

九　會議ニ關スル規定

十　存立ノ時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其ノ時期又ハ事由

第五十二條　商業組合中央會設立ノ認可アリタルトキハ主タル事務所ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲スベシ

登記スベキ事項左ノ如シ

一　前條第一號、第二號及第十號ニ揭ゲタル事項

二　事務所

三　資産ノ總額

四　設立認可ノ年月日

五　理事及監事ノ氏名及住所

前項ニ揭ゲタル事項中ニ變更ヲ生ジタルトキハ其ノ登記ヲ爲スベシ但シ前項第三號ニ揭ゲタル事項ニ付テハ每事業年度末日ノ現在ニ依リ事業年度終了後二月以內ニ登記ヲ爲スコトヲ得

第五十三條　商業組合中央會ニハ理事及監事ヲ置クベシ

第五十四條　商業組合中央會ノ理事及監事ハ總會ニ於テ會員タル商業組合若ハ商業組合聯合會ノ理事若ハ監事又ハ第五十條第二項ノ會員ノ中ヨリ之ヲ選任ス但シ中央會設立當時ノ理事及監事ノ選任方法ハ勅令ノ定ムル所ニ依ル

第五十五條　第四條第二項、第二十條、第二十二條、第二十四條、第二十六條、第二十七條及第三十三條乃至第四十條ノ規定ハ商業組合中央會ニ之ヲ準用ス但シ第三十七條ノ規定ニ依リ準用スル非訟事件手續法第百四十一條竝ニ産業組合法第十一條第一項、第十二條、第十八條乃至第二十二條、第四十條乃至第四十六條、第四十八條、第五十一條乃至第五十八條、第六十三條ノ二、第六十四條、第六十六條第一項、第六十七條、第六十八條、第七十七條第三項及第七十八條ノ規定ヲ除ク

附　則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十一條ノ二第一項(第三十二條ノ規定ニ依リ準用スル場合ヲ含ム)ニ該當スル商業組合又ハ商業組合聯合會ノ理事ニシテ本法施行ノ際現ニ其ノ職ニ在ル者ハ其ノ選任ニ付同條ニ依リ認可ヲ受ケタルモノト看做ス

登錄稅法第十九條第七號中「商業組合聯合會、」ノ下ニ「商業組合中央會、」ヲ加フ

(國務大臣吉野信次君演壇ニ登ル)

○國務大臣(吉野信次君)　今只議題トナリマシタ商業組合法中改正法律案ノ提案理由ヲ御說明致シマス、我ガ國ノ中小商業者ノ疲弊困憊ノ由ッテ來ル原因ハ色々アラウト存ジマスルガ、業者自身ノ經營ノ不合理、業界ノ無統制ニ因ルコトモ少クナイノデアリマシテ、是等ニ基ク諸種ノ弊害ハ商業組

合制度ノ發達ニ依リマシテ漸次改善セラレツヽアルノデアリマス、併シナガラ現行ノ制度ハ尙其ノ事業活動ノ範圍竝ニ統制確保ノ方法ニ付キマシテ遺憾ノ點ガアリマスノデ、之ガ整備ヲ圖ル必要ガアリマス、殊ニ第七十一議會ニ於キマシテ、ソレ〴〵御協贊ヲ得マシテ、貿易組合法ヲ制定シ、工業組合法ヲ改正シ、以テ貿易統制ノ確立ト、之ニ對應スル關係工業者方面ノ統制確保ヲ圖ッタノデアリマス、ソコデ右ニ關聯致シマシテ配給業者タル商業者ノ方面ニ於キマシテモ、綜合的ノ統制ヲ圖ルニ適當ナル組織ヲ必要ト致スノデアリマス、仍テ此ノ際商業組合法中一部ノ改正ヲ行ヒマシテ、右ノ色々ナ事情ニ鑑ミマシテ、商業組合ノ事業範圍竝ニ其ノ統制機能ヲ擴充致シマスルト共ニ、統制確保ノ方法ヲ講ジ、之ニ伴ッテ商業組合ニ對スル監督規定ヲ補充致シマスル外、商業組合ノ中樞的ノ指導機關デアリマスル商業組合中央會ノ制度ヲ法制上認メルコトニ致シタイ、サウ云フヤウナ色々ナ點カラ商業組合制度ヲ整備致シタイト存ズルノデアリマス、是ガ本案ノ提案ノ理由デゴザイマスノデ、何卒十分御審議ノ上、御協贊ヲ與ヘラレムコトヲ希望致シマス

○副議長（侯爵佐佐木行忠君） 御質疑ガナケレバ、本案ノ特別委員ノ氏名ヲ朗讀致サセマス

（丸龜書記官朗讀）

商業組合法中改正法律案特別委員

侯爵嵯峨　公勝君　子爵植村　家治君
子爵增山　正興君　男爵飯田精太郎君
三浦　新七君　有賀　光豐君
森　平兵衛君　大和田健三郎君
出光　佐三君

○副議長（侯爵佐佐木行忠君） 日程第二、第三及第五ハ同一委員ニ付託セラレタ議案デアリマスルカラ、日程ノ順序ヲ變更シテ三案ヲ一括シテ議題ト爲スコトニ御異議ゴザイマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○副議長（侯爵佐佐木行忠君） 御異議ナイト認メマス

○副議長（侯爵佐佐木行忠君） 日程第二、商法中改正法律案、日程第三、商法中改正法律施行法案、日程第五、有限會社法案、第一讀會ノ續、委員長報告、委員長大隈侯爵

（左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ玆ニ載錄ス以下之ニ倣フ）

商法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和十三年二月十日

委員長　侯爵大隈　信常

貴族院議長伯爵松平賴壽殿

商法中改正法律施行法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和十三年二月十日

委員長　侯爵大隈　信常

貴族院議長伯爵松平賴壽殿

有限會社法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和十三年二月十日

委員長　侯爵大隈　信常

貴族院議長伯爵松平賴壽殿

（侯爵大隈信常君演壇ニ登ル）

○侯爵大隈信常君 只今上程ニナリマシタ三法律案中、商法中改正法律案ハ去ル第七十回ノ帝國議會ノ際ニ本院ニ於キマシテ愼重審議ヲ重ネマシタル上、原案ニ二三ノ修正ヲ加ヘマシテ可決致シマシタコトハ、既ニ諸君ノ御承知ノ通リデアリマス、而シテ今回ノ政府提出案ニ付キマシテハ、右本院ニ於キマシテ修正ヲ加ヘタ所ヲ尊重致サレマシテ、原案ニ之ヲ取入ラレテ居ルノデアリマス、又其ノ外ニ二三前回ノ案ニ變更ヲ加ヘラレテ居ル箇所モアリマス、併シナガラ是等ハ比較的輕微ナ點デゴザイマス、扨本法律案ハ商法第一編ノ總則及第二編ノ會社ニ付キマシテ、全般的ノ改正ヲ試ミタモノデアリマシテ、或ハ現行規定ヲ補充シ、又ハ變更シタルモノ、或ハ全然規定ヲ新設シタルモノ等ガ實ニ多岐ニ亙ッテ居ルノデアリマス、其ノ內容ニ付キマシテハ、既ニ第七十議會ノ際ニ十分檢討ヲ致シマシタノデアリマシタガ、尙今回モ更ニ審議ヲ加ヘマシテ、試ニ適切且有力ナル法典トシテ之ヲ歡迎スベキモノト委員會ニ於テ認メタ次第デアリマス、次ニ商法中改正法律施行法案ハ、商法改正ニ伴ヒマシテ新舊法ノ調和ヲ圖ル爲ノ經過規定、竝ニ新法ヲ施行スル上必要ナル補充規定ヲ包含シテ居ルモノデアリマシテ、是亦愼重ニ審議ヲ致シマシタ結果、誠ニ適切且必要ナル法律デアリマスト云フコトヲ認メタ次第デアリマス、次ニ有限會社法案ニ付キマシテハ、本法案ハ商法ニ規定シテ居リマス所ノ四ツノ種類ノ會社以外ニ、別箇ノ新ラシイ會社ノ制度ヲ創設シタ所ノモノデアリマス、其ノ重要性ニ鑑ミマシテ、委員會ニ於キマシテハ小委員會ヲ設ケマシテ、精査スルコトガ最モ適當ト考ヘマシタ故ニ、山岡萬之助君外八名ノ委員ヲ小委員ニ選定致シマシテ、審査スルコトニ致シタ次第デアリマス、而シテ右小委員會ハ山岡萬之助君ヲ委員長ニ致サレテ、熱心ニ會議ヲ重ネラレ、政府ヨリ周到綿密ナル說明ヲ聽取サレマシテ、銳意且愼重ニ審議ヲ重ネラレタ結果、特別委員會ニ於テ小委員會ノ決議ノ結果ヲ委員長ヨリ御報告ヲ受ケタノデアリマス、其ノ詳細ナルコトハ速記錄ニ總テ讓ルコトニ致シタイト存ジマスガ、尙其ノ中ノ重要ナル事項ヲ一二玆ニ御紹介申上ゲタイト思ヒマス、卽チ其ノ第一ハ有限會社ノ制度ヲ新タニ認メタ所ノ必要、竝ニ實益ニ付テ質問ガアッタノデアリマスガ、之ニ對シマシテハ政府ハ有限會社ハ有限責任ヲ負擔スルト云フコトニ於キマシテ、全ク株式會社ト同樣デアリマスケレドモ、社員ノ數ガ比較的少數デアル、而モ其ノ社員ガ互ニ相信賴スルモノデアル、且ツ又社員ノ移動ヲ努メテ制限スル點ニ於キマシテハ、合名會社ノ色彩ヲ帶ブルモノデアリマスガ故ニ、斯樣ナ特殊ノ會社ガ營業上ノ企業組織トシテハ誠ニ手頃デアリ、又便利デアルト云フ關係カラ、既ニ是迄モ多數ノ外國ニ於キマシテハ是認セラレテ居リ、ソレ〴〵十分ニ其ノ實績ヲ擧ゲテ居リマスモノデアリマス、又我ガ國ニ於キマシテモ、以前ヨリ實業界ノ熱心ナル希望ガアッタガ爲ニ、今回商法中改正法律案ニ於テ會社編ヲ全般的ニ改正ヲ試ミマスト同時ニ、右ノ要求ニ順應スル爲ニ、此ノ有限會社法案ト云フモノヲ提出シタノデア

ルト云フ御話デアリマス、第二ニハ有限會社ニ付テ何等弊害ヲ生ズル虞ハナイカト云フ點ニ付キマシテノ御質問デアリマスガ、之ニ對シマシテハ、政府ハ有限會社ハ株式會社ニ比シテ其ノ組織ガ單純デアル爲ニ、其ノ設立モ比較的容易デアリマスガ、特ニ此ノ法案ニ於キマシテハ出資ハ其ノ全額、又現物出資ガアッタ場合ニハ其ノ全部ヲ設立手續中ニ拂込ンデ、又給付スベキコトヲ强制シテ居ル、且出資未濟ノモノガアリマシタ時、又現物出資等ノ評價ガ過當デアリマス時ニハ、全員ハ之ガ塡補ニ付テ連帶ノ責ヲ負フト云フコトニナッテ居リマシテ、此ノ資本增加ノ場合ニモ同樣デアリマス、即チ會社ノ基礎ヲ鞏固ニスルニ付キマシテハ、十分ノ注意ヲ拂ッテ居ルバカリデナク、會社ノ債權者ノ權益ヲ保護スルコトニ付キマシテハ、殆ド全ク株式會社ニ於ケルト同樣ナ嚴格ナル規定ヲ以テ之ニ臨ンデ居ルノデアリマス、尙有限會社ガ合併又ハ組織變更ニ依ッテ、株式會社トナス場合ニ於キマシテモ、嚴重ナル要件ヲ定メテ居ルノデアリマスカラ、株式會社ヲ脫法的ニ有限會社ノ形ヲ以テ設立スルト云フヤウナ危險ハアリマセヌ、之ヲ要スルニ諸種ノ弊害ヲ防止スルノ用意ニ缺クル所ガナイ、斯ウ云フ御說明デゴザイマシタ、又第三ニハ有限會社ノ取締役モ商法中ノ改正法律案ニ於ケル株式會社ト同樣ニ、社員外ノ者ヲ以テ之ニ充テルコトガ出來ルト云フ途ヲ開イテ居ルノデアリマスガ、是ハ弊害ハナカラウカト云フ質問デアリマシタガ、之ニ對シテ政府ノ說明ニ依リマスレバ、是ハ定款ヲ以テ取締役ニ社員タルコトヲ必要トスル旨ノ定ヲナスト云フコトハ、決シテ妨ゲナイノデアリマス、而シテ株式會社ノ現在ニ於ケル實情ニ徵シテ見マスルノニ、株主ニアラザル者ヲ株主ニ假裝シテ、之ヲ取締役トスルト云フ事例ハ相當ニ多イ、左樣ナ場合ニ貸シタ所ノ株式ノ返還等ニ付キマシテ、厄介ナル紛爭ノ生ズルコトガ少クナイガ爲ニ、斯樣ナル弊害ヲ起ラナイヤウニスル爲ニ、其ノ選任ノ範圍ヲ擴ゲタニ過ギナイノデアリマシテ、株式會社ニ於キマシテモ固ヨリ甚ダ必要ナル規定デアリマスガ、有限會社ニ於キマシテモ社員ガ少數ナル關係モアリ、又社員タルコトヲ假裝シタ場合ニ、其ノ持分ヲ返還スルノガ株式ヲ返還スルヨリモ面倒ダト云フ關係上、右ノ必要竝ニ實益ハ株式會社ニ比シテ更ニ大ナルモノガアルノデアル、斯ウ云フ御說明デアリマシタ、仍テ特別委員會ニ於キマシテハ、是等ノ諸點ハ勿論デアリ、其ノ他全般ニ付キマシテ愼重ニ審議ヲ進メマシタ結果、本法案ノ內容ハ誠ニ適切且穩當デアリマシテ、實業界ニ多大ノ便益ヲ與ヘルモノデアルト認メタ次第デアリマス、以上申上ゲマシタ通リニ特別委員會ニ於キマシテハ、只今上程サレマシタ所ノ三法律案ヲ、何レモ政府原案ノ儘之ヲ可決スルコトニ致シタ次第デゴザイマス、唯最後ニ一委員ヨリ、此ノ有限會社ノ取締役ヲ社員外ヨリ選任スルコトハ、他ノ重壓ニ依ッテ社員ノ希望セザル者ノ選任ヲ强要セラルヽノ危險ガアル、例ヘバ金融會社ガ自己ノ推薦スル者ヲ選任セザレバ、金融ノ途ヲ塞グコトヲ强要スルガ如キ、又會社ノ目的タル事業ノ許可ヲ塞グガ如キ場合ニ、暗ニ特定ノ人ヲ取締役トシテ選任スベキ旨ヲ示唆スルガ如キ實例ハ、從來ト雖モ會社ノ體驗スル所デアリマスガ故ニ、政府ハ本案ガ社員外ノ取締役ノ選任ヲ認メタト云フノハ、會社ノ自治權能ヲ尊重シタルモノナルコトヲ明カニシ

（議長伯爵松平賴壽君議長席ニ著ク）

且此ノ自治權能ヲ阻却スルガ如キ弊害ヲ除去スル爲ニ、格段ノ注意ヲ拂ハレムコトヲ希望スルト云フ旨ヲ申述ベラレタルコトヲ茲ニ附加ヘタ次第デアリマス、右御報告申上ゲマス

○**議長**（**伯爵松平賴壽君**）　只今委員長ノ報告ヲ煩シマシタ三案中、第五ニ付キマシテハ討論ノ通告ガゴザイマスカラ、先ヅ日程第二及第三ノ二案ヲ議題トシ、之ヲ採決ヲ致シタイト存ジマス、二案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異議ゴザイマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○**議長**（**伯爵松平賴壽君**）　御異議ナイト認メマス

○**子爵西大路吉光君**　直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○**子爵植村家治君**　贊成

○**議長**（**伯爵松平賴壽君**）　西大路子爵ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○**議長**（**伯爵松平賴壽君**）　御異議ナイト認メマス

○**議長**（**伯爵松平賴壽君**）　二案ノ第二讀會ヲ開キマス、御異議ガナケレバ全部ヲ問題ニ供シマス、二法案ハ全部委員長ノ御報告通リデ御異議ゴザイマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○**議長**（**伯爵松平賴壽君**）　御異議ナイト認メマス

○**子爵西大路吉光君**　直チニ兩案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○**子爵植村家治君**　贊成

○**議長**（**伯爵松平賴壽君**）　西大路子爵ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○**議長**（**伯爵松平賴壽君**）　御異議ナイト認メマス

○**議長**（**伯爵松平賴壽君**）　二法案ノ第三讀會ヲ開キマス、二法案全部、第二讀會ノ決議通リデ御異議ゴザイマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○**議長**（**伯爵松平賴壽君**）　御異議ナイト認メマス

○**議長**（**伯爵松平賴壽君**）　是ヨリ日程第五、有限會社法案ヲ議題ニ供シマス、是ニハ反對意見ノ通告ガアリマシタカラ、之ヲ許可ヲ致シマス、土方君

（土方寧君演壇ニ登ル）

○**土方寧君**　私ハ本案ハ有害無益ト云フ考ヲ持ッテ居マス、反對デアリマス、ソレ故ニ本案ガ先日提出ニナリマシタ時ニ政府委員カラ說明ガアリマシタ、何等其ノ必要ナル所以ヲ知ルコトガ出來マセヌノデ質問致シマシタガ、一向要領ヲ得ナイ、重ネテ伺ッテモドウモ滿足セヌ、御答ガ出來ヌト云フ見込ガ付キマシタカラ止メマシタ、ソレカラ委員付託ニナッテ愼重御審議ニナッタ結果ヲ先刻委員長カラ御報告ニナリマシタ、幾分提案ノ時ノ政府委員ノ說明ヨリハ詳シウ御話ガアリマシタケレドモ、ソレデモドウモ私ハ之ガ必要ナル所以ヲ了解スルコトガ出來マセヌ、ソレ故ニ成ルベク簡單ニ本案ニ反對スル意見ヲ述ベタイト思ヒマス、御承知ノ通リニ現行商法ニハ四種ノ會社ガアリマス、其ノ他ニ今度斯ウ云フ特別ノモノヲ

設ケヨウ、何ノ必要ガアル、少シモ解スルコトハ出來マセヌ、合名會社ハ昔カラ何處ノ國ニモアッタノデ、比較的少數ノ、互ニ相知リ相信ズル者ガ共同シテ或事業ヲ經營スルト云フ組織デアリマス、全社員ガ無限責任社員デアリマス、ソレデ規約ノ定メヤウ次第デアリマスケレドモ、餘リ社員ガ少イ時ニハ全部分擔シテ其ノ會社ノ事業ニ携ルト云フヤウナコトガアル、處ガ外ノモウ一ツノ合資會社ト云フノハ、少ナクトモ一人ハ無限責任社員ガアル、一人デモ、モット多クテモ宜シウゴザイマスケレドモ、是ハ實ハ質問ノ時ニモチョット申シマシタガ、同ジコトニナルガ、中古カラノコトデアリマス、當時ハ嚴格ニ利息制限法ガ行ハレマシタ、制限以上ノ利息デ貸シタナラバ、日本ノ利息制限トハ違ヒマシテ、非常ニ嚴格ニ元本迄失フト云フコトニナッテ、サウ云フ利息制限法ノ適用ヲ免レル爲ニ、營業者ニ金ヲ貸スト云フヤウナ意味デ出資ヲスル、利益ガナカッタラ利息ニ當ルモノヲ貰ヘナイカモ分ラナイ、アッタ以上ハ制限以上ノ利息ヲ貰ヘルト云フヤウナ意味デアリマシテ、事業ヲ經營スル者ガ無限責任社員ダケデ、實ハ有限責任社員ハ資本ヲ投ジタ債權者ミタイノモノデアリマス、其ノ起ッタ理由ハ今デハ必要ガナイノデアリマス、多クノ國デハ其ノ制限法ヲ廢シテシマッテ、最近社會立法ガ幾分利息制限法ニ似寄ッタ制限法ヲ實施シテ居リマスガ、又起ッタ理由ハナクナッタ、是モ亦誠ニ有益ナ組織デアリマスカラ、今日多クノ國ニ認メラレテ居ル、處ガ株式會社……有限責任株式會社ト云フモノハ近代ノモノデアリマシテ、產業革命以來ノモノデアリマス、一番先ニ產業革命後、會社ノ組織ト云フモノハ、大規模ノ事業ヲスルト云フコトニ著手シタト云フノハ「イギリス」デアリマス、當時今日我々ガ當リ前ノヤウニ思フ有限株式會社ト云フモノハ、無論何處ニモナイノデアリマス、實業家ガ多數ノ人カラ少額株金ヲ集メテ、大資本ヲ合同シテ大事業ヲシヨウ、其ノ計畫ヲスル、發起人ヤ取締役ガ一ツデ、事業ノ經營ニ與ル人ハ少數デ、大多數ガ與ラナイ、其ノ代リ其ノ會社ガ失敗シタナラバ、有限ノ比較的少額ノ株金ヲ出資シタ者ハ、自分ノ全財產ヲ以テ責任ヲ負ハナケレバナラヌト云フコトデアレバ不安デナラナイカラ、誰デモ應募者ガナイ、ソレデアルカラ出資限リ、株券限リト云フコトニシテ多數ノ人カラ金ヲ集メテ、大資本ヲ作ッテ事業ヲシテ行カウト云フコトデ、「イギリス」デ始メマシタガ、裁判所ハ認メナイ、ソンナ不合理ノコトハナイ、凡ソ人ガ他人ニ對スル責任ヲ自分ノ財產ノ一部分ニ局限スルト云フヤウナ勝手ノコトガ出來ルモノヂヤナイ、ソレガ一人デ出來ナケレバ、十人デモ百人デモ出來ナイ、會社ト云フモノハ法人デ、ソレハ人間ガ便宜上組織スルダケノ話デ、實際ハ社員ノ團體デアル、彼等ガ彼等ノ財產ノ一部分ニ責任ヲ局限スルト云フコトハ出來ルモノデハナイ、ドウシテモ認メナイ、處ガ左樣ナコトデハ迚モ今ノヤウナ會社ガ出來ヤウガナイト云フノデ、後ニハ遂ニ公益上ノ理由デ有限責任ト云フモノハ認メラレタ、公益上ノ理由ト云フノハ、今日我々ガ普通ニ言フヤウナ大規模ノ株式會社ノ組織ガ大事業ヲスルト云フコトハ、之ニ携ル人々ノ個人々々ノ、自分ノ利益ヲ得ル爲ノミデハナイ、是ハ國ノ富ヲ增殖スル爲ニ必要ノ手段デアル、公益上ノ理由デ漸ク認メラレタ特例……特殊ノモノデアリマス、其ノ有限責任ト云フノハ本來常識カラ考ヘテモ分ルノデアリマス、純理カラ言ヘバ不都合ノモノデアリマス、公益上ノ理由ト云フ一點カラシテ特別ニ認メラレタ性質ノモノデアリマス、左樣デアルカラ有限責任ノ會社ノ如キハ濫ニ擴張スベキモノデハナイ、本案ノ有限責任會社デアリマスト云フト、社員ハ五十人以下、出資ハ一萬圓以上、五十人以下トナッテ居リマスカラ、五十人カ、四十人カ、三十人カ知レマセヌガ、多分五十人ヨリ少イカ、多クハアルマイト思フ、ソレガマア百圓位宛出ス、一萬圓、五萬圓、十萬圓、幾ラニナルカ知リマセヌガ、一萬圓以上ノ資本、小規模ノモノデアリマス、先刻委員長ノ御報告ノ中ニモ此ノ會社ノ特質ハ少數ノ人々ノ、互ニ相知ッテ居ル人々ノ間ノコトデアルト云フ御話モアリマシタガ、ソレハサウデアリマセウガ、ソレハ合名會社ノ性質ヲ有ッテ居ル、合名會社ハ無限責任社員ダケデ出來テ居ル、ソレヲ今度ハ實質ハ殆ド合名會社ト同樣ナモノヲ、自分達ノ都合ノ爲ニ皆有限ニシテシマウ、我ガ儘極マル、無責任極マル話デアルト私ハ思フ、ソレデ此ノ案ガ無クテモ合名會社ノ組織ガアル、ソレデハ皆無限責任ヲ負フノガイヤダト云フノナラバ、合資會社デモ宜シイ、合資會社ハ一人カ幾人カ無限責任ノ責任者ガアリマス、其ノ組織ニ依ラシメテモ宜イ譯デアル、ソレカラ又株式會社デアリマスト、多クノ株式會社ハ株主ガ非常ニ大勢居ル、資本ノ額モ隨分大キナモノニナッテ居ル、大事業ヲシテ居リマスガ、形式カラ言ヘバ、七人以上デモ宜イ、僅カナ株主デモ出來ル、又實際株式會社ノ組織ニナッテ居ッテ、其ノ資本ガ誠ニ僅カナ何萬圓ト云フモノモアルノデアリマス、併シ株式會社ノ組織ニナッテ居リマスカラ取締リガ一層嚴重ニナッテ居ル、斯ウ云フヤウナモノガ現ニアルノデアリマス、其ノ外又株式合資會社ト云フモノガアル、是ハ無限社員ガ幾人カアッテ其ノ外ニ多數ノ有限社員ガアルモノデアリマスカラ、此ノ場合合資會社ト違ッテ株ノ便宜ヲ圖ッテ居ルト云フ違ヒデ、是モ反對カラ見レバ株式合資會社ニ無限責任社員ヲ幾人カ置キ得ルトシテモ同ジデアリマス、少クモ四ツノ既ニ色々ノ組織ガアッテ、ソレ〳〵便否ガアリマスガ、其ノ外ニ斯ンナモノヲ拵ヘル必要ハナイ、チットモナイト思フノデアリマス、若シ斯ウ云フヤウニ有限責任ノ立法ト云フモノヲ擴張シテ行クト云フト、非常ナ弊害ヲ生ジテ來ルコトハ確實デアルト思ヒマス、是ハ法律語デハ「ワン・マン・カンパニー」一人會社ト云フノガアリマスガ、是ナドハ一體不都合ナノデアリマス、公益上ノ理由ニ依ッテ有限責任ト認メラレタ此ノ制度ヲ、少數ノ個人ノ利益ノ爲ニ濫用シテ居ル一例デアリマス、名義ダケハ多數ノ株ヲ拵ヘマシテモ、少數ノ富豪ガソレヲ皆持ッテ居ル、ソレダカラ會社ノ實ハナイ、日本ノ所謂同族會社、或富豪ナドガ現行商法ノ實施後合名組織ニ依ッテ行ヒ、或富豪ナドハ合資會社ノ組織ニ依ッタモノモアル、何レモ私ハ誠ニ適當デアッタト思フ、今ハ變ッテドウナッテ居ルカ知リマセヌ、私ノ考デハドウモ有限責任ノ趣意ト云フモノヲ不當ニ擴張シテ居ル、若シ斯ウ云フヤウナ法律ガ出來マスト、比較的少數ノ人ガ少數ノ金デ、僅カナ何萬

圓ト云フ金デ事業ヲ經營スル、今日ノ實際カラ言ヒマスト、實業界ノコトハ能ク知リマセヌケレドモ、軍需工業ニ關係ノアルモノハ繁昌シテ居リ、然ラザルモノハ衰微シテ居ル、是ハ變態デアリマスケレドモ、斯ウ云フ事情ガ續ケバ已ムヲ得ナイガ何レ常態ニ復ス、其ノ時ニハ反動ガ來マス、其ノコトハ世界戰爭ノ時ニ非常ニ繁昌シテ、戰爭後反動ガ來テナカ〳〵後ノ始末ガ付カズ、大正昭和、昭和二年ニナッテカラ銀行ノ破綻迄行ッタ、ソンナ譯デ私ノ考デハ斯樣ナ無責任ナ組織ニシテ、設立者モ冒險的計畫ヲスル、無論會社モ亂雜ナ經營ヲスル、失敗スレバ債權者ガ迷惑ヲスル、ソレハ出資限リ、勝手ナ話デアリマス、斯樣ナモノハ私ノ考デハ絕對ニ認ムベキモノデハナイト思ヒマス、詳シイコトヲ話シテモ、既ニ委員會ヲ通過シテ居ルノデアリマスカラ、無駄ニナルト思ヒマスカラ是ダケニシテ置キマスケレドモ、斯ウ云フモノハ有害無益、有限責任ノ趣旨ト云フモノハ、大イナル理由ガナケレバ個人ノ利益ノ爲ニ我ガ儘ヲ許スベキモノデナイ、斯ウ云フ私ノ考デアリマス、詳シイコトハモウ申シマセヌガ、若シ出來タナラバ實行後ノ結果ヲ御注目願ヒタイ、屹度是ハ有益ニ利用セラレズシテ害ガ多イト思フ

○議長（伯爵松平賴壽君） 他ニ御發言モナケレバ本案ノ採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

（起立者多數）

○議長（伯爵松平賴壽君） 過半數ト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 贊成

○議長（伯爵松平賴壽君） 西大路子爵ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（伯爵松平賴壽君） 御異議ナイト認メマス

○議長（伯爵松平賴壽君） 本案ノ第二讀會ヲ開キマス、御異議ガナケレバ全部ヲ問題ニ供シマス、本案全部、委員長ノ報告通リデ御異議ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（伯爵松平賴壽君） 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 贊成

○議長（伯爵松平賴壽君） 西大路子爵ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（伯爵松平賴壽君） 御異議ナイト認メマス

○議長（伯爵松平賴壽君） 本案ノ第三讀會ヲ開キマス、本案全部、二讀會ノ決議通リデ御異議ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（伯爵松平賴壽君） 御異議ナイト認メマス

○議長（伯爵松平賴壽君） 日程第四、日滿司法事務共助法案、政府提出、第一讀會ノ續、委員長報告、委員長岩倉公爵

日滿司法事務共助法案

右別冊ノ通修正議決セリ依テ及報告候也

昭和十三年二月十日

委員長　公爵岩倉具榮

貴族院議長伯爵松平賴壽殿

（特別委員ノ修正ニ係ル部分ノミヲ印刷シ其ノ他ハ之ヲ略ス小字及━━ハ修正ナリ）

第六條　檢事犯罪ノ捜査ノ共助ヲ爲スニ付強制ノ處分ヲ必要トスルトキハ押收、搜索、檢證、
檢事共助ヲ爲スニ付必要アルトキハ押收、搜索、檢證、被疑者ニ對スル勾引狀ノ發付、被疑者若ハ證人ノ訊問又ハ鑑定ノ處分ヲ其ノ所屬區裁判所ノ判事ニ請求スルコトヲ得

檢事被疑者ニ對スル勾引狀ノ發付ノ共助ヲ爲スニ付必要アルトキハ其ノ處分ヲ其ノ所屬區裁判所ノ判事ニ請求スルコトヲ得

二　前項ノ規定ニ依ル請求ヲ受ケタル判事ハ其ノ處分ニ關シ豫審判事ト同一ノ權ヲ有ス

本條第一項ノ處分ヲ爲シタルトキハ速ニ之ニ關スル書類及證據物ヲ檢事ニ送付スベシ

〔公爵岩倉具榮君演壇ニ登ル〕

○公爵岩倉具榮君 只今議題トナリマシタ日滿司法事務共助法案ノ委員會ニ於ケル審議ノ經過竝ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、本委員會ハ去ル一月三十一日ヨリ三回ニ互リ開會致シマシタ、滿洲國ト日本國トノ間ノ司法事務ノ共助ハ、我ガ國ニ於キマシテハ、明治三十八年法律第六十三號、外國裁判所ノ囑託ニ因ル共助法ノ規定ニ依ルノ外ナイノデアリマスガ、此ノ法律ニ依ル共助ノ範圍ハ訴訟書類ノ送達ト證據調ニ限ラレテ居リマシテ、日滿兩國ノ特殊ノ關係ヲ考ヘマスト、以上ノ外ニ犯罪ノ捜查、勾引狀及逮捕狀ノ發付及執行、刑事判決ノ執行ニ付キマシテモ、互ニ共助ヲナシ合ハナケレバ實際上ノ必要ニ應ズルコトガ出來マセヌ、サウシテ此ノ必要ニ應ズル爲ニハ、日滿兩國間ニ於キマシテハ、一般諸外國トノ間ニ於ケルヨリモ、共助ノ範圍ヲ一層擴張スル必要ガアリマスノデ、茲ニ本案ガ提出サレタノデアリマス、以上ノ趣旨ニ付キマシテハ、委員會ニ於キマシテモ大體適當デアリ、又極メテ必要ナルコトト考ヘマシテ、委員諸君ハ愼重ニ審議ヲ盡サレタノデアリマス、唯問題トナリマシタノハ、第六條デアリマシテ、政府當局ノ眞意ノ存スル所ガ法文ニ十分現レテ居リマスノデアリマス、此ノ法文ニ依ッテ解釋致シマスト、第六條ハ檢事ガ一般ノ犯罪捜査ノ囑託ヲ受ケタル場合ニ於テ、押收、搜索、檢證、被疑者ニ對スル勾引狀ノ發付、被疑者若ハ證人ノ訊問又ハ鑑定ノ處分ヲ判事ニ請求スルコトガ出來ルヤウニ解釋セラレルノデアリマス、從ッテ政府ノ說明サレルヤウニ、勾引狀發付ニ付テ特ニ囑託ガアッタ場合ノミニ、被疑者ニ對スル勾引狀ノ發付ト云フモノガ適用サレルト云フコトニハ、文意上解釋出來ナイノデアリマス、是ハ實質ニ於テモ不當デアリ、又世人ヲシテ非常ナ不安ヲ感ゼシメマスノデ、政府原案ノ趣意ヲ明カニ致ス方ガ立法トシテ適當デアルト考ヘ、次ノ如ク修正致シマシタ、卽チ第一項ハ「檢事犯罪ノ捜査ノ共助ヲ爲スニ付強制ノ處分ヲ必要トスルトキハ押收、搜査、檢證、被疑者若ハ證人ノ訊問又ハ鑑定ノ處分ヲ其ノ所屬區裁判所ノ判事ニ請求スルコトヲ得」ト改メ、第二項ニ「檢事被疑者ニ對スル勾引狀ノ發付ノ共助ヲ爲スニ付必要アルトキハ其ノ處分ヲ其ノ所屬區裁判所ノ判事ニ請求スルコトヲ得」ト加ヘタノデアリマス、從ッテ第三

項及第四項ハ右修正ノ結果、次ノ如ク原案ノ文字ヲ改メマシタ、即チ第三項「前二項ノ規定ニ依ル請求ヲ受ケタル判事ハ其ノ處分ニ關シ豫審判事ト同一ノ權ヲ有ス」、第四項「判事本條ノ處分ヲ爲シタルトキハ速ニ之ニ關スル書類及證據物ヲ檢事ニ送付スベシ」、尙法文ノ書キ方ニ付テハ、近頃ハ非常ニ巧妙ニナッテ、却テ一般ノ人ニハ其ノ意味ガ分ラナイコトモアルノデ、近頃ノヤウニ種々ノ人權蹂躙ノ問題ガ起ッテ居ルコトデモアリマスカラ、法文ノ運用ニ付テハ、大イニ注意ヲ要スルト云フ意見モゴザイマシタ、以上詳細ノコトハ速記錄ヲ御覽願ヒタイト思ヒマスガ、斯クシテ愼重審議ノ結果、委員會ニ於キマシテハ全會一致、原案ヲ修正可決致シマシタ、右御報告申上ゲマス

（國務大臣鹽野季彥君演壇ニ登ル）

○**國務大臣（鹽野季彥君）**　只今委員長カラ御報告ニナリマシタヤウニ、委員會ニ於キマシテハ原案ノ第六條ニ付キマシテ修正ガアリマシタ、此ノ修正ノ趣旨ハ、原案ノ趣旨ヲ一層能ク分リ易クシタモノデアリマシテ、政府ニ於キマシテハ固ヨリ贊成デゴザイマス

○**議長（伯爵松平賴壽君）**　質疑ノ通告ガゴザイマシタカラ……富小路子爵

○**子爵富小路隆直君**　簡單デゴザイマスカラ、此ノ席ヨリノ發言ノ御許シヲ願ヒマス

○**議長（伯爵松平賴壽君）**　宜シウゴザイマス、成ルベク大キク願ヒマス

○**子爵富小路隆直君**　只今委員長ヨリ御報告ニナリマシタ第六條ノ修正ニ關シテノ質問デゴザイマス、其ノ質問ニ入リマス前ニ、此ノ質問ヲ致シマスルニ至リマシタコトニ付テチョット申上ゲマス、從來ノ慣例ニ於キマシテハ、法律案等ニ委員會ニ於テ修正ノアリマシタ場合ニハ、其ノ修正ニ對スル政府ノ意見ヲ、即チ同意スルヤ否ヤノ意見ヲ聽クノガ慣例ニナッテ居ルヤウニ存ジテ居リマス、然ルニ本委員會ニ於キマシテハ、當時司法大臣ニ於カレマシテ已ムヲ得ザル御都合ノ結果御出席ガナカッタノデ、其ノ當時致スコトガ出來マセヌデシタノデ、本日ニ實ハ讓ッタノデアリマス、デ其ノ點ニ付キマシテ只今御質問ヲ致サウト思ッテ居ッタノデゴザイマスガ、司法大臣ヨリ只今既ニ御述ニナリマシタノデ、此ノ際質問ハモウ致シマセヌ、唯斯ウ云フコトニナリマシタト云フコトニ付テ、皆樣ノ御了承ヲ願ッテ置キタイト思ヒマス

○**議長（伯爵松平賴壽君）**　他ニ御發言モナケレバ本案ノ採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○**議長（伯爵松平賴壽君）**　御異議ナイト認メマス

○**子爵西大路吉光君**　直チニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○**子爵植村家治君**　贊成

○**議長（伯爵松平賴壽君）**　西大路子爵ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○**議長（伯爵松平賴壽君）**　御異議ナイト認メマス

○**議長（伯爵松平賴壽君）**　本案ノ第二讀會ヲ開キマス、御異議ガナケレバ全部ヲ問題ニ供シマス、本案全部、委員長ノ報告通リデ御異議ハゴザイマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○**議長（伯爵松平賴壽君）**　御異議ナイト認メマス

○**子爵西大路吉光君**　直チニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○**子爵植村家治君**　贊成

○**議長（伯爵松平賴壽君）**　西大路子爵ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○**議長（伯爵松平賴壽君）**　御異議ナイト認メマス

○**議長（伯爵松平賴壽君）**　本案ノ第三讀會ヲ開キマス、本案全部、二讀會ノ決議通リデ御異議ゴザイマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○**議長（伯爵松平賴壽君）**　御異議ナイト認メマス

○**議長（伯爵松平賴壽君）**　是ヨリ通告順ニ依リマシテ國務大臣ノ演說ニ對スル質疑ノ發言ヲ御許シ致シマス、男爵阪谷芳郎君

（男爵阪谷芳郎君演壇ニ登ル）

○**男爵阪谷芳郎君**　本員ハ朝鮮半島ノ我ガ同胞諸君ニ對シテ、敬意ト感謝ノ意ヲ表スル爲ニ一言質問ヲ致ス者デゴザイマス、拓務大臣ヨリ御答ヲ願ヒタイ、近年朝鮮ノ事情ハ非常ニ進步ヲ示シマスヤウデゴザイマシテ、殊ニ製造工業、農商工其ノ他一般ニ非常ナ進步ヲ示スニ至リマシタコトハ、御同慶ノ至リニ存ジマスガ、是ハ日韓合邦ノ結果、其ノ宜シキヲ得タコトノ一ニ歸スルモノデアリマス、デ此ノ日韓合邦ト申スコトハ、內地ノ爲ニモ、朝鮮半島ノ爲ニモ非常ニ幸福デアル、又東洋ノ平和、延イテハ世界ノ平和ノ爲ニ非常ナ貢獻ヲシタモノト認ムルノデアリマス、特ニ此ノ際御伺ヒ致シタイノハ、日支事變以後朝鮮半島ノ我ガ同胞諸君ガ擧國一致、愛國ノ熱誠ヲ示サレマシタコトト云フモノハ、全ク涙グマシイ事情ガアッタト存ジマス、又近クハ志願兵ノ制度ヲ實施セラレ之ニ對シテモ非常ナ熱心ニ應募者ガアリ、又近クハ敎育ノ制度ヲ內鮮ノ區別ヲ撤廢セラレタト云フコトデアリマス、是モ非常ニ結構ノコトト存ジマス、是等ノコトハ內地、朝鮮ノ非常ニ接近致シマシタコトヲ示スモノデ、一應主務大臣ヨリ其ノ實情ノ最近ノ情況ヲ御答辯ヲ願ヒタイノデゴザイマス、其ノ御答辯ノアリマシタ後ニ尙一言致シタイト存ジマス

（國務大臣大谷尊由君演壇ニ登ル）

○**國務大臣（大谷尊由君）**　阪谷男爵ノ御質問ニ御答ヲ致シマスデゴザイマスガ、朝鮮ノ同胞ハ日韓合邦以來一視同仁ノ御精神ヲ奉體致シマシテ、歷代總督其ノ治績ヲ擧ゲマシタノデ、各種ノ工業、商業、農業、總テ非常ナ發達ヲ致シマシタガ、取分ケ朝鮮人ノ、我々ハ日本人デアルト云フ所ノ自覺ハ、益〻深マッテ參ッテ居ルノデアリマシテ、滿洲事件ヲ契機ト致シマシテ、其ノ自覺ハ進ンデ參ッタノデアリマスルガ、殊ニ今次ノ事件ノ勃發ニ依リマシテ、益〻其ノ時局ノ認識ヲ强ク致シテ參リマシテ、帝國臣民ト致シマシテノ誇ト熱意トヲ懷クニ至ッテ參リマシタノデアリマスガ、之ヲ具體的ニ申シマスナレバ、國防獻金デアルトカ、或ハ軍需品ノ調達、出征兵士ノ見送、又ハ其ノ家族慰問等ヲ初メト致シマシテ、有ラユル銃後ノ協力ヲ致シマシテ、擧國一致ノ精神ヲ披瀝致シマシテ、內鮮融和ノ實ヲ遺憾ナク發揮致シツヽアルノデアリマス、此ノ事柄ハ只今仰セラレマシタ御說ノ如クデアリマ

シテ、是ガ帝國ノ爲メ、又東洋平和ノ爲ニ誠ニ欣快トスル所デゴザイマス、其ノ赤誠ニ對シマシテハ深ク〳〵之ヲ多トスベキモノガアルト政府ニ於テモ考ヘテ居ル次第デゴザイマス、又御尋ノ志願兵制度、此ノ朝鮮ノ現狀ニ鑑ミマシテ、愈〻近ク實施ノ運ビニナラウト致シテ居ルノデアリマスガ、目下著々、其ノ準備ヲ進メツヽアルノデゴザイマシテ、此ノ事柄ハ內鮮一體ノ最モ顯著ナル具現デアリマシテ、衷心慶賀ニ堪ヘナイ次第デゴザイマス、尙敎育制度ノ刷新等ニ付キマシテハ、ソレ〴〵只今硏究準備中デゴザイマシテ、時局ノ重大ナ折柄、朝鮮同胞ガ忠良ナル皇國ノ臣民ト致シマシテ、一致協力國運ノ隆盛ニ寄與スル所アラムコトヲ、切ニ私ハ期待シテ居ル次第デゴザイマス

〔男爵阪谷芳郞君演壇ニ登ル〕

○**男爵阪谷芳郞君**　本員ハ當局ノ大臣ヨリ明確ナ御答辯ヲ得マシタコトヲ深ク感謝致シマス、固ヨリ日本帝國ノ一部分タル朝鮮半島ノコトデアリマスルカラ、當然ト申セバ當然ノコトデアリマス、併シナガラ合邦以來マダ半世紀ヲ經ズ、非常ニ此ノ度ノ事變ニ付テノ愛國的誠意熱情ト云フモノハ、二千六百年歷史ヲ同ジウスル內地人ノソレニ比シテ、優ルトモ劣ラヌト云フコトニ至リマシテハ、私ト致シマシテハ深ク深ク朝鮮半島同胞諸君ニ對シテ、敬意ト感謝ノ念ニ堪ヘマセヌ、此ノ觀念ハ滿場諸君モ必ズ御同感デアリ、又全國民ニ於テモ同感デアラウト確信スル者デアリマス、尙今後朝鮮半島ニ對スル所ノ施政ニ付テハ、當局大臣ニ於テ十分進步改善ノ方針ヲ以テ力ヲ致サレムコトヲ、切ニ御願ヒ致ス次第デアリマス、終リニ一言申上ゲタイノハ、朝鮮半島ニ於ケル參政權ノ問題モ、當局ノ大臣ニ於テ愼重ニ御考慮アラネバナラヌ時期ガモウ遠クナイト思ハレルノデアリマス、特ニ御留意ヲ願ッテ置キマス

○**議長**（**伯爵松平賴壽君**）　本日ハ此ノ程度ニ於キマシテ延會ヲ致シタイト存ジマス、實ハ大臣方ガ御見エニナリマセヌカラ、此ノ程度ニ於テ延會ヲ致シタイト存ジマスガ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○**議長**（**伯爵松平賴壽君**）　御異議ナイト認メマス、次ニ御諮リヲ致シタイノデゴザイマスガ、本會議ノ開會中ニ委員會開會ノ要求ガゴザイマシタナラバ、議事ニ差支ナイ限リ、議長ニ於テ之ヲ許可スルコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○**議長**（**伯爵松平賴壽君**）　御異議ナイト認メマス、次會ハ明十五日午前十時ヨリ開會致シマス、議事日程ハ決定次第彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午前十一時三十七分散會

貴族院議事速記錄第七號正誤

頁	段	行	誤	正
一〇五	四	二九	四年	三年

貴族院議事速記錄第十號正誤

頁	段	行	誤	正
一三一	二	二四	文字、音節	文字ハ音節
一三三	三	九	ナイト」	ナイ」ト

內閣印刷局